

## 令和 3 年度 認知症初期集中支援推進事業活動報告について

## 1 認知症初期集中支援チーム

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

## 2 チームの構成メンバー

- (1) 東御市民病院：認知症サポート医、看護師（認知症看護認定看護師含む）、理学療法士、作業療法士、社会福祉士
- (2) 地域包括支援センター：保健師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、（認知症地域支援推進員含む）
- (3) 他事業所：介護支援専門員、認知症介護指導者

## 3 活動内容（訪問、チーム員会議）

- (1) 認知症の対象者に関して包括的観察・評価に基づく初期集中支援を行うために訪問活動等を行う。初回訪問時は医療系職員と福祉系職員それぞれ 1 名で訪問し、本人の認知症症状の確認、専門的医療機関への受診や介護保険サービス利用の効果に関する説明により対象者やその家族の心理的サポートや助言を行う。
- (2) 訪問結果に基づき毎月 1 回、サポート医を含めチーム員会議を開催し対象者に対して適切な医療及び介護サービス利用等の勧奨・誘導、認知症の重症度に応じた助言、身体を整えるケア、生活環境の改善などの内容について検討する。

## 4 対象者の状況 19 名

	人数	年代			
		60	70	80	90
男性	7	0	2	4	1
女性	12	0	5	5	2
合計	19	0	7	9	3

## 5 把握ルート

家族	包括職員	民生児童委員	ケアマネ	近隣	他課	サポート医
5	1	6	2	3	1	1

## 6 対応件数（延べ件数） ※区長会参加・民生委員連携・店舗へ周知等・区回覧板で見守りネット事業配布等

訪問	電話	医療連携	事業所連携	地域連携※
44	24	5	1	3

## 7 チーム員会議

回数	日時 (月曜日)	新規 件数	経過確認 件数	終了 件数	モニ タリ ング 件数	参加者 (人)			
						地域包 括支援 係	東御市 民病院	事業所	合計
1	4月12日		1			3	4		7
2	5月17日	2	2		3	3	3	1	7
3	6月21日	2	4		1	3	4	2	9
4	7月26日	3	6	1		2	4	1	7
5	8月23日	1	6	1		2	4		6
6	9月27日	1	7	3		4	4	3	11
	10月25日	チーム員研修					7	2	9
7	11月29日	1	4		4	4	4	2	10
8	12月20日		3	1		4	3	3	10
9	1月17日		4			2	1	4	7
10	2月28日	2	4	1		3	1	3	7
11	3月29日	1	6	1	1	3	1	4	8
合計	11(研修1)	13	47	8	9	40	35	23	98

※チーム員会議は必要に応じ他機関の参加あり（福祉関係事業所等）※経過確認件数は延べ件数

## 8 介入後結果 (件)

介護保険 申請	介護サービス 利用	有償サービス 利用	ケアマネ 引継ぎ	地区担当 引継ぎ	施設 入所	医療 受診
3	4	1	1	2	2	2

## 9 振り返り・課題

- ・チーム員として他事業所より6名増員になり活発となった。
- ・本人の認知症の症状というより家族によって医療やサービスに繋がらないケースが多かった。(家族支援が多かった。)
- ・認知症の初期段階であり本人の自覚がなく、家族も年相応のもの忘れ程度の認識により、認知症の進行やBPSD(周辺症状)が起きてしまうことがある。結果、家族が本当に困ってからでないと相談や病院の受診、介護申請に至らないことが多いため、初期段階からの対応の必要性について家族に対して、認知症の中核症状やBPSD(周辺症状)、医療機関の紹介や介護サービスなどを繰り返し説明することが必要である。
- ・認知症に対するの偏見があり、認知症ということを隠したい気持ちが強いため、相談出来ないことも考えられる。認知症が誰でも起こり得る病気だということの周知が必要である。また、認知症になっても安心して暮らせる地域にするために、市民を対象とした認知症についての正しい理解を普及するための啓発活動に力を入れていきたい。